

抄録ファイル見本

演題名 全角 60 文字以内	白色ラベンダー美郷雪華 (<i>Lavandula Angustifolia</i> 'Misatosekka')低温真空抽出液の抗ストレス作用
演者氏名 最大 10 名 筆頭演者に○	○ 昭和 花子 1, 2), 大正 太郎 3), 明治 次郎 1, 3)
所属 最大 10 施設	1) 令和大学 薬学部 薬理学研究室 2) 令和大学附属病院 薬剤部 薬剤師 3) 平成ライフサイエンス株式会社
キーワード 6 語以内	美郷雪華、真正ラベンダー、抗ストレス作用、コルチゾール
抄録本文 全角 1000 文字以内	【目的】 美郷雪華（みさとせっか、<i>Lavandula angustifolia</i> 'Misatosekka'）は、2005 年に秋田県美郷町のラベンダー園で発見された、白色の花を咲かせるラベンダーの新品種である。現在のところ、美郷雪華は主に観光資源として利用されており、ラベンダー品種でありながらアロマセラピーへの応用は検討されておらず、その生理的作用は明らかにされていない。そこで本研究では、美郷雪華のアロマセラピーへの応用可能性を検証することを目的として、その芳香成分による抗ストレス作用の解析を行った。 【方法】 美郷雪華の抽出液は、秋田県美郷町ラベンダー園で採取された美郷雪華の花および葉を、低温真空抽出装置（株式会社 A.E.、MSN-100）により抽出して得た。 抗ストレス作用の検討には、20～26 歳の健康な男女 12 名を被験者とした。美郷雪華抽出液 1 mL を蒸留水 100 mL で希釈し、超音波式ディフューザーを用いて 30 分間芳香を暴露した。その後、被験者の唾液中に含まれるストレス関連ホルモンであるコルチゾールの濃度変化を測定した。比較対象として、抗ストレス作用が報告されている市販の真正ラベンダー (<i>Lavandula angustifolia</i>) 精油（東京アロマ株式会社）および蒸留水のみを用いた対照条件下での唾液中コルチゾール濃度も測定した。本研究は令和大学研究倫理委員会の承認を受け、すべての被験者から文書による同意を得た上で実施した（承認番号：2024-003）。 【結果】 美郷雪華抽出液の芳香暴露は、対照となる蒸留水暴露に比べて、唾液中のコルチゾール濃度を有意に低下させた（Tukey-Kramer 検定、$p<0.05$）。また、その効果は真正ラベンダー精油の芳香暴露時と有意差は認められなかった（Tukey-Kramer 検定、$p=0.301$）。 【考察】 唾液中コルチゾール濃度を指標とした本検討において、美郷雪華抽出液の芳香暴露により有意なコルチゾール濃度の低下が認められたことから、本抽出液には真正ラベンダー精油と同様に抗ストレス作用を有することが示された。この結果は、美郷雪華がアロマセラピー用途においても有効に活用できる可能性を示唆している。